

「七里御浜防風林 GG 作戦」を実施しました。

七里御浜国有林で、2月25日(日曜日)、「七里御浜松林を守る協議会」の呼びかけのもと、「平成29年度七里御浜防風林 GG 作戦」を地域の方々と実施しました。

GGとは、グリーン(松林を守り) グロー(育てる)という意味で、平成5年度から植樹や林内清掃に取り組んでおり、今回で23回目となりました。

七里御浜国有林は、三重県南部の熊野市、御浜町、紀宝町に位置し、熊野灘に面した延長約25kmの海岸防災林で、地域の生活や農作物を海からの強風や潮害、飛砂等から守るため保安林として重要な役割を果たしています。



七里御浜 遠望



七里御浜 林内

また、「吉野熊野国立公園」にも指定されており、その他「日本の渚百選」「日本の白砂青松百選」「21世紀に残したい日本の自然百選」や、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のバッファ地域となっている等、林内や浜辺を散策するなど様々な方々の健康増進や憩いの場としても親しまれています。

これらのこともあり、七里御浜国有林は全国で1,055箇所あるレクリエーションの森の一つとして指定されていますが、その中でも特に美観に優れ、地域の方々がこの森を守るため協議会を設置していたり、ボランティア等での積極的な活動もあることから、「日本美しい森 お薦め国有林」(全国で93箇所)に選ばれています。

当日は、家族連れを含む約130名の方々が熊野市・御浜町・紀宝町の各会場で、松くい虫の被害に抵抗性があるとされる「抵抗性クロマツ」200本の植樹と、林内の清掃活動を行いました。

リピーターの方も結構おられ、手慣れた手つきで植樹される方や、初めて植樹を経験される方もおられましたが、それぞれ一生懸命に穴を掘り、最後の水やりまで丁寧に抵抗性クロマツ苗を植えてくれました。

「大きく育てて欲しい。」「土が固く、木の太い根っこなどもあり難しかったが、穴を掘ってしまえば簡単だった。」などの声が聞かれました。

この活動を毎年続けていくことにより、少しずつですが松が回復し、海岸防災林として、また、人々の癒しの空間として七里御浜国有林が地域の中で大切な役割を果たして

いるんだ、ということを実感できた時間になったのではないかと考えています。

三重森林管理署では、この美しい七里御浜をしっかりと管理し、より親しまれるようにしていきたいと考えています。

GG 作戦だけでなく、クリーン作戦など皆さんがより関わられるような取り組みも展開していきたいと考えていますので、そういった機会が聞こえましたら是非ご参加いただき、みんなで七里御浜を育てていきましょう。

※ 七里御浜松林を守る協議会

七里御浜松林の自然環境の整備等、公益的機能の維持向上を図るため、関係機関の連携を密にするとともに地域住民の協力も得て効果的かつ適切な対策を講じ、七里御浜松林の保全に資することを目的に、所在する紀宝町、御浜町、熊野市と三重県（熊野農林事務所）、環境省（近畿地方環境事務所）、三重森林管理署で構成する協議会。

熊野市会場



集合写真

植付

植付

御浜町会場



集合写真

植付

清掃

紀宝町会場



集合写真

植付

清掃